

さらなる配管施工の安定供給を目指して「朝倉工場」稼働開始

# 配管路の工業化

総合設備工場、ヤマト加工センターでは、配管のプレハブ化、モジュール化・ユニット化など、配管加工の高品質な工業化を通じ、施工の合理化、省力化、省資源化を推進しています。また2013年秋に新しく建設された朝倉工場が稼働開始。さらなる配管施工の安定供給を目指しています。



第一工場

第二工場



第三新工場 朝倉工場



朝倉工場 B棟内

## 配管路の工業化メリット

現場作業

工場に移転

機械加工

人手作業の削減

作業環境の改善 / 品質向上  
短工期 / コスト低減 / 環境負荷軽減

## ヤマト加工センター朝倉工場

ロボット制御による切断、溶接  
加工から組立、搬出まで全てをこなす大型工場

- CADデータと連動させ、小口径配管並びに大口径配管を配管切断機で自動切断。
- 独自の切断方式により、より精度の高い切断を実現しています。
- 切断後の配管は品質のバラツキの少ない自動溶接で溶接され、高品質な配管加工方式で加工されます。
- 加工製品は全品圧力試験を実施し、部材ごとに梱包して各現場へと搬出されます。



配管ストック



自動切断



自動溶接



配管加工(バンダー加工)



加工製品(バーリング加工)



加工製品(ツバ出しによるフレア加工)



加工製品(バンダー加工)



加工製品(モジュール)